

3) 地域助産婦活動

— 地域で活動している助産婦の実態調査 —

〔就業助産婦数〕

1984年(S.59年)の助産婦総数は、看護関係統計資料集¹⁾より25887人である。その内訳を見ると養成所251人(1.0%)、保健所169人(0.6%)、病院13177人(50.9%)、診療所4362人(28.0%)、その他684人(2.6%)である。

〔年齢構成〕

就業助産婦全体の年齢構成は従来から言われているように55歳以上が51.7%と半数を占めている。

就業助産婦のうち地域で活動している者に焦点をあててみる。昭和59年の日本助産婦会・日本看護協会の調査による「地域における助産婦の実態調査」では「養成所、病院、診療所、保健所」を除き7991人の調査を行っている。(但し、助産婦として仕事をしていない者が1636人ほど含まれているので考慮したい。)

20代15人(0.2%)、30代71人(0.9%)、40代96人(1.2%)、50代986人(12.3%)、60代3228人(40.4%)、70代3030人(37.9%)、80代536人(6.7%)、90代15人(0.2%)、不明14人(0.2%)である。

ここでは、高齢化の現実はあるものの20～30歳代でも開業をしていること、さらには50歳代で986人(12.3%)もの開業者がいることに注目している。

〔全国分布〕

助産婦総数および文献②の地域助産婦の全国分布は表1に示した。

就業助産婦の内、地域で活動をしている助産婦の割合が多いと推定される県は秋田、佐賀、鹿児島であり、北海道、東京、神奈川、岡山、山口、

徳島では低いと思われる。平均約30%である。

〔新制度助産婦の割合〕

1948年(昭和23年)の保健婦助産婦看護婦法の制定により、助産婦になるためには看護婦としての学業を修めることが条件となった。文献②によると新制度による助産婦免許取得者は7991人中4851人で60.7%を占めている。しかし、これは先にも述べたように現在就業していない者を含み、また調査年を考慮すれば新制度の免許証を持つ者はさらに増していると考えられる。

〔地域助産婦活動の実態〕

地域助産婦の活動内容について見ると、文献②「助産婦業務は行っていない」者を除いた5680人の内、助産のみを扱う者(妊娠から産褥までの保健指導を含む)16人(0.2%)、助産と他の事も行っている者1374人(24.2%)、助産は行っていない(「新生児訪問」「沐浴」「保健指導」を主に行っている)者4174人(73.5%)、乳房マッサージのみ16人(0.2%)である。さらに、この一年間(昭和58年)で行った業務の内訳を見ると(複数回答)図4のとおりである。助産婦業務は助産に限らず母子のあらゆる場面で展開されているが、思春期相談など活動面でも広がりがみられている。また、乳房マッサージのみで活動する者もみられ、助産にこだわらず開業していることが伺われる。

次に、先の項目を個々にみると、

<助産>

助産を扱った者の一カ月平均件数は表2のとおりである。一カ月「1～4件」の者がもっとも多く、1,036人、約70%をしめる。また、「9件まで」では約86%となり大半をしめる。

<新生児訪問指導>

昭和58年の出生数1,508,687に対し、訪問実人員436,050であり（母子保健の主なる統計）約29%の実施率であると述べている。委託訪問は児童福祉法により実施されているが、「助産所（院）における助産婦活動の実態調査」平成元年、日本助産婦会発行 文献③では保健所からの依頼は月平均7.4件（最大74件、最少1件）である。が、さらには本人および家族からの依頼が192件／年と有料でも訪問依頼のニーズがあることを述べている。表③は文献②からのものである。

<妊婦訪問指導>

月平均の妊婦訪問は表4のとおりであるが新生児訪問と同様の傾向がみられる。昭和58年の妊婦訪問（中毒症訪問指導）は実人員26,813件であった。（母子保健の主なる統計）訪問指導は助産婦が委託されて行っており、保健所・市町村の保健婦も実施しているが、その実施率は少ない。

<沐浴>

沐浴は入院中に指導されているため、件数は多くないが「家庭訪問で行う沐浴」をしている者が3,382人いる。1カ月平均件数は1～9件で90.1%である。

<乳房マッサージ>

新生児・乳児の母乳栄養は昭和45年を最低として増加傾向をしめしている。（母子衛生の主なる統計）図5。このことから母乳育児のニーズは年々増加していくものと思われる。月平均の実施回数は表6にしめした。

<電話相談>

電話相談を行ったのは2,201人であり相談件数は表7のとおりである。1～4件が最も多く妊娠中のことや育児について、助言者となれる人々が地域や家族内に少なくなり、育児書どおりにいかないことも多く、今後も専門家たちの助言を求めることはさらに多くなるとと思われる。

<家族計画指導>

助産婦の多くは「受胎調節実地指導員」としての資格を持つ。表8では有料で行われた件数を調査している。集団指導や家庭訪問時に行われたものは含んでいない。

人工妊娠中絶は最近、総数では減少の傾向を示しているが20歳未満の件数が増加していること、また35歳以上の中絶件数がここ10年横這い状態である。思春期や末子出産後の家族計画指導のニーズもまだまだ高いことがうかがわれる。

〔収入〕

助産婦としての業務により生計を維持していけることは、地域の中で活動をしていけるか否かということにもなる。地域で活動している助産婦の主な収入源は表10にしめした。5,728人中、助産婦の仕事からは36.1%、助産婦以外の仕事からは5.7%、その他（年金や家族の援助）が58.2%であり、過半数は生活の維持は難しい。さらに、「保健指導」や「相談」は行政の委託である訪問指導以外の指導・相談は無報酬であることが多い。表11や表12の如く、協定料金としての「指導料」や「処置料」の最低と最高の差が大きく、先に述べた訪問指導回数を考慮すると「訪問指導」だけを業としては、生活は成り立たないことになる。

文 献

- 1) 日本看護協会刊：看護関係統計資料集。昭和62年。
- 2) 日本助産婦会、日本看護協会：地域における助産婦の実態調査。昭和59年。
- 3) 日本助産婦会：助産所（院）における助産婦活動の実態調査。平成元年9月。
- 4) 全国助産婦学校協議会：助産婦業務についての調査報告書。昭和55年9月。

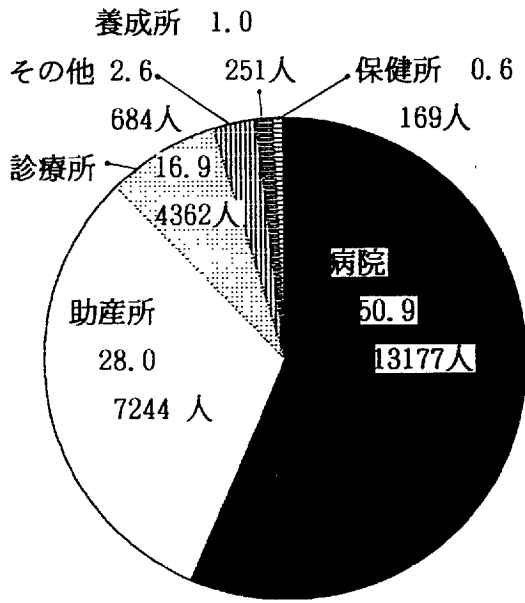


図 1 助産婦就業場所
(昭和59年)

看護関係統計資料集より

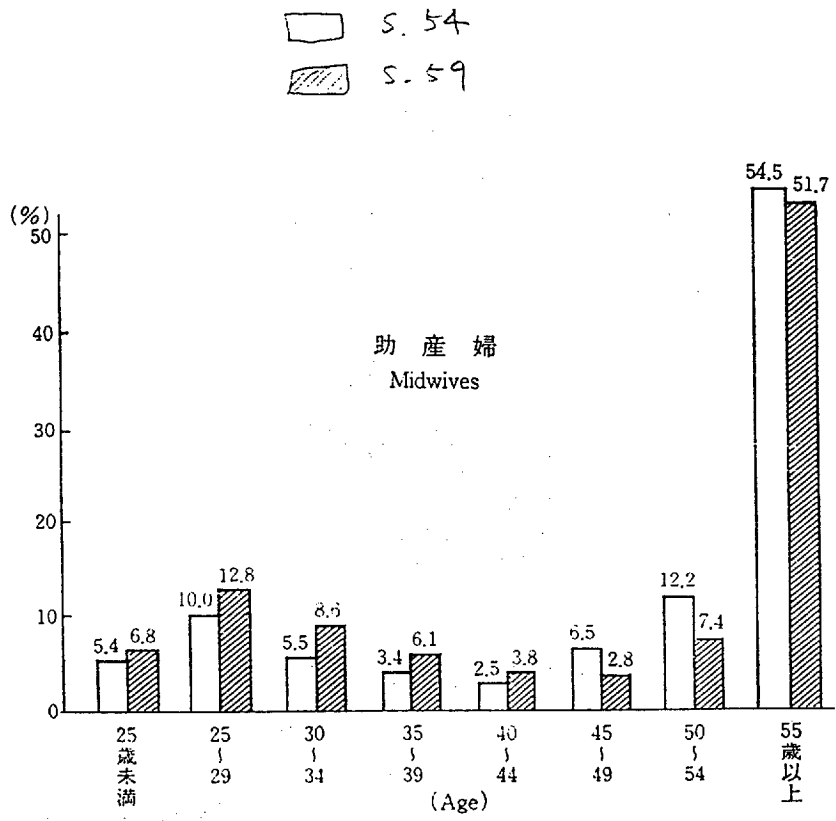


圖 2 年齡階層別百分率

看護關係統計資料集

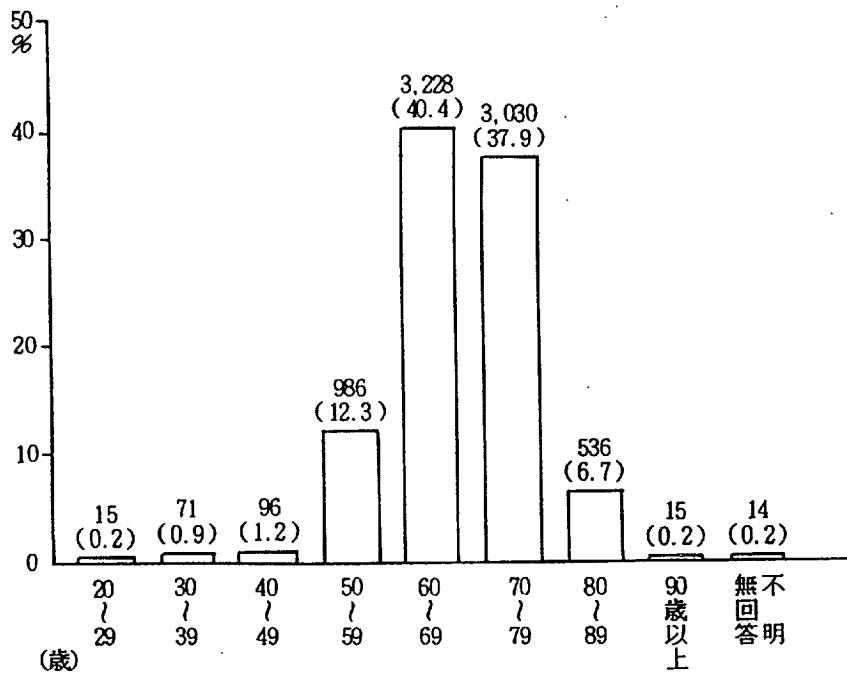
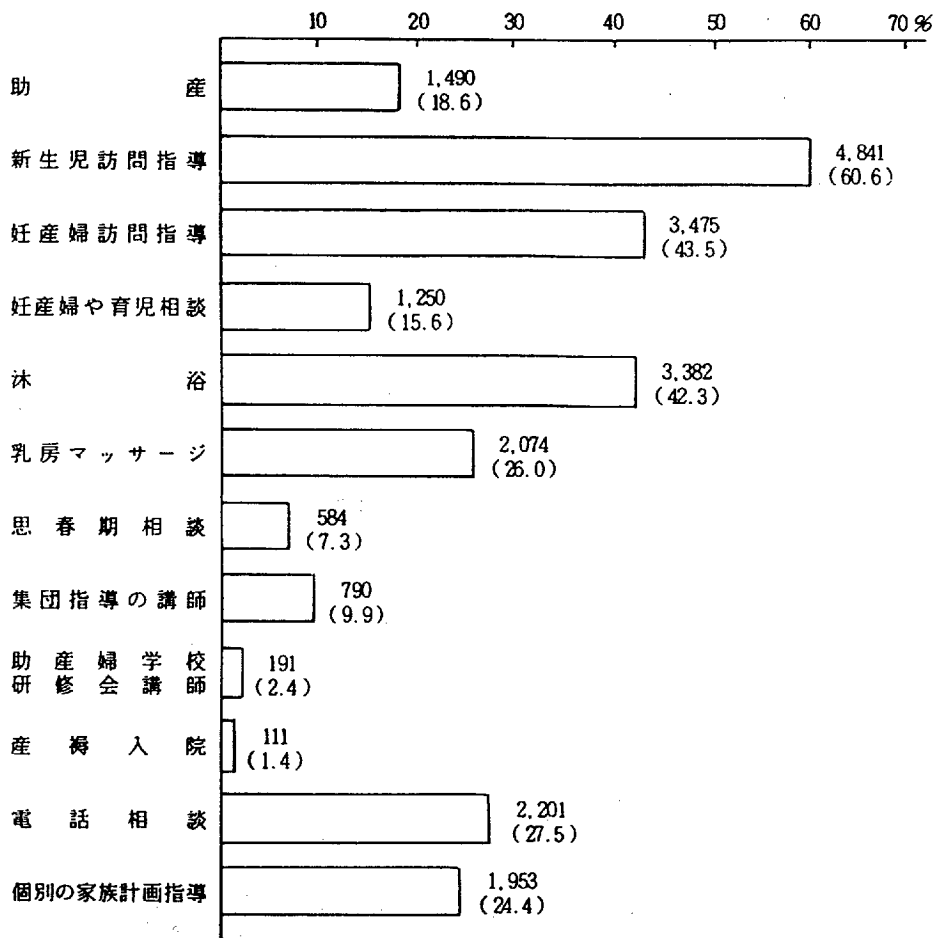


図3 年齢階層別構成割合
n = 7991

地域における助産婦の実態調査
日本助産婦会・日本看護協会



注) 現在は助産婦業務は行っていない者も含めた
全体(7,991名)に対する割合である。

図4 地域助産婦活動内容
(複数回答)

地域における助産婦の実態調査
日本助産婦会・日本看護協会

月齢別乳汁栄養法

(%)

	1 か月時				3 か月時			
	総 数	母乳栄養	人工栄養	混合栄養	総 数	母乳栄養	人工栄養	混合栄養
昭和35年	100.0	67.8	19.7	8.7	100.0	53.4	25.6	15.6
昭和45年	100.0	31.7	26.3	42.0	100.0	31.0	40.9	28.1
昭和55年	100.0	45.7	19.3	35.0	100.0	34.6	40.5	24.9
昭和60年	100.0	49.5	9.1	41.4	100.0	39.6	28.5	32.0

注) 昭和35、45、55年は、乳幼児身体発育調査、昭和60年は乳幼児栄養調査による。

乳汁栄養法の年次推移

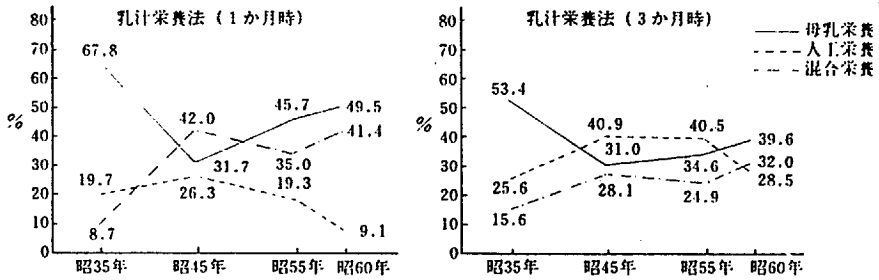


図5 母乳栄養法の変化

母子衛生の主なる統計

① 看護関係統計資料集

② 地域における助産婦の実態調査 昭和59年 日本助産婦会 日本看護協会

県	実数①	調査②	県	実数①	調査②	県	実数①	調査②
北海道	1104	170	愛知	1053	213	宮崎	313	98
青森	368	131	三重	271	84	鹿児島	630	316
岩手	513	126	滋賀	258	100	沖縄	188	70
宮城	566	224	京都	625	165	合計	25887	7889
秋田	397	220	大阪	1845	390			不明 ²
山形	366	114	兵庫	1110	274			
福島	500	128	奈良	226	109			
茨城	512	180	和歌山	219	55			
栃木	419	198	鳥取	172	39			
群馬	322	151	島根	220	78			
埼玉	839	266	岡山	334	64			
千葉	810	319	広島	496	161			
東京	2587	509	山口	334	43			
神奈川	1271	224	徳島	214	39			
新潟	1031	504	香川	222	76			
富山	337	101	愛媛	298	102			
石川	257	87	高知	171	62			
福井	175	74	福岡	1041	333			
山梨	165	49	佐賀	165	85			
長野	561	264	長崎	427	127			
岐阜	420	202	熊本	516	224			
静岡	714	307	大分	295	134			

助産件数（1ヵ月平均取扱数）

表 2

件	人数
1～4	1036
5～9	247
10～14	99
15～19	36
20～29	31
30～34	4
40	5
59	1
60～	2
不 明	29
合 計	1490

新生児訪問指導件数（月平均）

表 3

件	委託	非委託有料	非委託無料
1～4	1968	637	431
5～9	1300	162	97
10～19	933	70	35
20～29	245	19	6
30～39	93	2	3
40～49	26	1	1
50～59	22	3	—
60～	30	4	1
不 明	224	224	224
合 計	4841	1122	798

* 地域における助産婦の実態調査

日本助産婦会・日本看護協会

妊婦訪問指導件数（月平均）

表 4

件	委託	非委託有料	非委託無料
1～4	1693	424	299
5～9	839	106	75
10～14	356	49	21
15～19	98	13	5
20～29	106	10	5
30～39	37	2	1
40～49	7	—	—
50～59	16	1	—
60～	13	2	—
不 明	310	310	310
合 計	3475	917	716

沐浴件数（月平均）

表 5

件	人数
1～9	3047
10～19	147
20～29	47
30～39	19
40～49	8
50～59	5
60～	11
不 明	98
合 計	3382

* 地域における助産婦の実態調査

乳房マッサージ
表 6

件	人数
1～4	1446
5～9	203
10～14	76
15～19	19
20～29	25
30～39	12
40～49	3
50	5
80～	16
不明	270
合計	2074

電話相談
表 7

件	人数
1～4	1270
5～9	457
10～14	204
15～19	48
20～29	55
30～39	24
40～49	3
50～59	11
60～	16
不明	113
合計	2201

家族計画指導
表 8

件	人数
1～4	973
5～9	286
10～14	136
15～19	36
20～24	28
25～29	8
30～39	17
40～49	5
50～59	8
60～	4
不明	488
合計	2201

*表 6、7、8とも月平均である（地域における助産婦の実態調査）より

人工妊娠中絶 INDUCED ABORTIONS

年齢別、人工妊娠中絶(昭和30年～昭和63年)
Induced Abortions by Age of Woman, 1955~1988

表9

実数 Number

年次 Year	総数 Total	20歳未満 Under 20y.	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50歳以上 50y. and over	不詳 Not stated
1955 昭和30	1 170 143	14 475	181 522	309 195	315 788	225 152	109 652	13 027	268	1 064
1960 35	1 063 256	14 697	168 626	304 100	278 978	205 361	80 716	9 650	253	875
1965 40	843 248	13 303	142 038	235 458	230 352	145 583	68 515	6 611	237	1 151
1970 45	732 033	14 314	141 355	192 866	187 142	134 464	54 101	6 656	162	973
1975 50	671 597	12 123	111 468	184 281	177 452	123 060	56 634	5 596	208	775
1980 55	588 084	19 048	90 337	131 826	177 506	123 277	50 280	5 215	132	463
1984 59	568 916	28 020	90 293	101 304	155 376	135 629	53 571	4 366	117	240
1985 60	550 127	28 038	88 733	95 195	142 474	139 594	51 302	4 434	94	263
1986 61	527 900	28 424	84 931	90 479	130 218	141 675	47 299	4 511	121	242
1987 62	497 756	27 542	81 178	86 633	117 866	131 514	48 262	4 408	105	248
1988 63	486 146	28 596	82 585	83 734	110 868	123 387	52 477	4 241	83	175

母子衛生の主なる統計

地域で活動している助産婦の主な収入源

表10

就業場所	助産婦の仕事	助産婦以外の仕事	その他
有床助産所	9 4 8	5 2	4 0 4
無床助産所	1 0 3 3	2 6 1	2 8 3 3
母子・保健センター	8 7	1 5	9 5
合計	2 0 6 8 (36.1)	3 2 8 (5.7)	3 3 3 2 (58.2)

* 地域における助産婦の実態調査

訪問指導料

表11

	平均金額	最低額	最高額
新生児訪問指導	1136円	700	3000
妊産婦訪問指導	1167	400	3000
家族計画指導	1512	200	7000

処置の協定料金

表12

項 目	平均料金	最低額	最高額
診察料	2 3 6 3 円	1 0 0 0 円	5 0 0 0 円
再診料	1 7 9 7	5 0 0	3 0 0 0
往診料	2 4 6 4	5 0 0	5 0 0 0
分娩料	8 7 4 0 0	3 5 0 0 0	2 2 0 0 0 0
入院料（1日）	8 4 8 9	1 2 0 0	1 7 0 0 0
新生児管理料	3 3 0 0	5 0 0	1 0 0 0 0
褥婦処置料	2 3 2 3	2 0 0	1 0 0 0 0
沐浴料	1 9 8 5	5 0 0	1 0 0 0 0
乳房管理料	2 1 2 9	2 0 0	8 0 0 0
証明書料	1 3 6 7	2 0 0	5 0 0 0
家族計画相談料	1 9 7 9	5 0 0	1 0 0 0 0
受胎調節実地指導料	2 6 0 2	8 0 0	1 0 0 0 0
乳児預かり料	4 8 4 7	4 0 0	1 0 0 0 0
産褥入院（1日）	9 2 3 4	2 0 0 0	2 0 0 0 0
入院総額（1週間）	1 8 6 0 3 6	9 4 5 0 0	2 9 0 0 0 0

助産所（院）における助産婦活動の実態調査より